

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-29

明治十五年第三百三十六号

(発行年 / Year)

1910

明治十五年三月二十六日

裁判言渡書

控訴人

長崎縣肥前國長崎區本籠町廿六番戸
平民垣田折吉代人同縣平民

井元秀一

被控訴人

同縣同國同區同町七拾三番戸平民池
崎吉次代言人

中山又二郎

被控訴人

同縣同國同區同町三十六番戸平民
山口リ工

長崎控訴院

引合人

同縣同國同區今魚町廿一番戸平民河
村千力總理代人同縣同國同區西彼杵郡長
崎村西山御千百五十八番地平民

高松榮

家賃金并ニ敷金及ニ家屋賣度ノ詞訟ニ付長崎
控訴裁判所ノ判決ヲ不服ナリトシ控訴セシ由
以テ兩造ノ申供并ニ引合人河村千力代人高松
榮力供述ト提舉ノ証據トニ基キ一件審理ヲ遂
クルル處

第一項本件詞訟ノ原因ヲ為セシ長崎區本籠町

廿六番戸家屋ハ引合人河村千力養父河村善
次カ明治二年中ニ建築セシモノニシ其敷地

正字
高松榮

ハ被控訴人山口工ヨリ借受ケシモノナリ
 然ルニ明治六年中善次ハ病死シ跡ニ其母正
 イナル者残りアリシモ既ニ八十有三歳ノ老
 齡者ニシテ家事ヲ管ムヘキ十分ノ能力ナク
 且ツ明治七年十一月二日ニ物故セルヲ以テ
 被控訴人池崎吉次ハ善次カ養子當時横濱港
 ニ滞在シ河村和三郎ヨリ依頼ヲ受ケ該家産
 等ヲ管理シ別チ明治七年十月中控訴人垣田
 柳吉ニ之ヲ發渡シ之レカ敷金及シ地料家賃
 等ノ取入レ並ニ違掛ヒ且ハ家産賣却ノ一途
 ニ取計ヒ在葦明治十四年ニ迄之レカ管理ヲ
 連續セシハ其経過ノ實跡ト証檢トニ依リ明
 認スルニ足ル

長崎控訴院

第一項河村善次カ明治六年ニ死去セシ跡ハ明
 治十四年八月ニ至リ初テ河村干カニ承テ之
 ヲ相續セシナリ尤モ干カハ明治五年ヨリ八
 年三月ノ頃迄娼妓稼ノ為メ他ニ出テ其後
 ナカ總理代人高松弟ト夫婦ノ因ミテ為シ實
 際學方ニ立越シヤリシモノナリ

第三項被控訴人山口正ハ明治七年十月以降
 地料トシテ控訴人カ拂入ニ金貲百貳拾円ヲ
 請取リタルモ這ハ河村家相續人ナキ時ニ流
 シ其管理人ナル池崎吉次協議ノ上受領セシ
 モノナリ


判決

前數項ノ事實ニ於ル如ク被控訴人池崎吉次ハ




當時管理^{事務}責任上ヨリ其事ニ関係セシモ最早
 其責任ヲ解除セシモノナレハ今ニ至テ亦訴テ受
 クヘキノ道理ナク又山口リ上ハ當其全負テ
 受領セシモノナレハ控訴人ニ於テ之レカ取戻
 テ訴フヘキノ權利ナキニヨリ該訴音ハ總テ相
 立メ

訴訟入費ハ成規ノ通り控訴人ニ於テ負擔ス
 へシ

主任判事石田篤満 

副任判事石巻清隆 

書記古屋美順 

明治五年十月廿日

長崎控訴院

右騰言ス

明治二十六年七月

書記池邊源太郎 